



2026年6月9日
株式会社日立製作所
執行役社長兼 CEO 徳永 俊昭
(コード番号：6501)
(上場取引所：東・名)

Hitachi Investor Day 2026 資料公開に関するお知らせ(CEO Remarks)

株式会社日立製作所は、6月10日(水)15時00分から開催する「Hitachi Investor Day 2026」の資料を公開しましたので、お知らせします。

別添資料： CEO Remarks

報道機関お問い合わせ先

株式会社日立製作所
経営戦略統括本部
グローバルブランドコミュニケーション本部
グローバルコミュニケーション部
03-3258-1111

IR 関係お問い合わせ先

株式会社日立製作所
インベスター・リレーションズ本部
03-5208-9323

HITACHI

Hitachi Investor Day 2026

CEO Remarks

2026年6月10日

株式会社日立製作所
執行役社長 兼 CEO
徳永 俊昭

1. **FY2025の成果**
2. AIがもたらす、さらなる成長機会
3. CEOプライオリティ
4. 日立のめざす姿

不確実な事業環境下でも、力強い成長を実現

Inspire 2027

サステナブルな社会インフラへの革新ニーズの拡大



昨年のInvestor Dayで提示したCEOプライオリティを着実に実行

Lumada事業の拡大

Lumada 80-20*¹に向けた
変革加速

Lumada売上比率 YoY +11pts

Lumada Adj. EBITA率 YoY +1pts

HMAXグローバルローンチ
(リカーリング型デジタルサービス)

キャピタルアロケーション

規律ある投資と
過去最大の株主還元

成長投資 **1,753億円**

- エナジーの北米サービス事業拡大
- HMAX拡大のためのAI開発力強化

株主還元 **5,572億円**
(YoY +1,678億円)

ガバナンスの深化

リスクマネジメントの強化と
資本市場へのコミットメント

地政学リスクへの対策を迅速化

従業員リーダー層への株式報酬導入

資本市場との対話強化

取締役会による監督の継続的強化

4 セクターが着実に成長機会を捉え、バックログは大きく伸長 持続的な企業価値向上に向けた強固な収益基盤を構築

バックログ **21兆円**
(YoY +24%)

データセンター需要の急拡大
半導体需要の拡大
旺盛な国内IT需要
防衛システム需要の拡大
パワーグリッド老朽化
再生可能エネルギー接続増加
鉄道インフラの革新需要

- Digital Systems & Services
- Connective Industries
- Mobility
- Energy

FY22

FY23

FY24

FY25

1. FY2025の成果
2. AIがもたらす、さらなる成長機会
3. CEOプライオリティ
4. 日立のめざす姿

AI

脅威か？

機会か？

AIがもたらす、さらなる成長機会

Energy

パワーグリッド
保守サービス市場

15兆円
(2035年)

Mobility

鉄道AI活用市場

3兆円
(2030年)

Connective Industries

フロントラインワーカー
支援市場

10兆円
(2030年)

Digital Systems & Services

ITシステム
モダナイゼーション機会

15,000システム
(稼働中の顧客システム)

ミッションクリティカルな社会インフラへのPhysical AIの実装

AIトランスフォーメーション

社会インフラ安定稼働のドメインナレッジ × 現場データ × AI

拡大するバックログに裏付けられた強固な事業基盤

110年の社会インフラ構築

190カ国に広がる現場知見

80年のIT事業

ミッションクリティカル領域へのPhysical AI実装により、社会インフラを継続的にアップデート



ドメインナレッジを持つPhysical AI FDE*1が
社会インフラの革新と安定稼働に貢献

継続的な
インフラ運用の高度化

膨大なインストールベースにPhysical AIを
実装し、現場の運用・保守を高度化

社会インフラのデジタル化

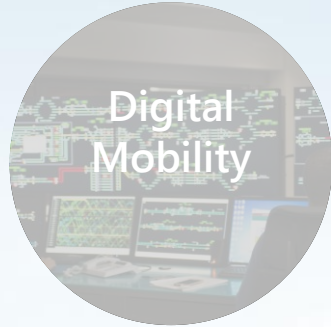
インフラを支えてきたドメインナレッジ × AI

旺盛なインフラ更新需要

大規模システムのモダナイゼーションを通じて、お客様業務のAIトランスフォーメーションを推進



Digital Energy



Digital Mobility



Digital Industries



Digital Transformation

AIトランスフォーメーション

ミッションクリティカルな知見をもつFDEが、
高信頼・高品質なAX*1をリード

継続的な
インフラ運用の高度化

膨大なITシステム資産の
AI-Ready化(モダナイズ)支援

社会インフラのデジタル化

国内システムエンジニア 35,000人 × AI

堅調なモダナイゼーション需要

1. FY2025の成果
2. AIがもたらす、さらなる成長機会
3. CEOプライオリティ
4. 日立のめざす姿

激変する経営環境の下、成長への飽くなき挑戦と規律ある経営を両立



1. FY2025の成果
2. AIがもたらす、さらなる成長機会
3. CEOプライオリティ
4. 日立のめざす姿

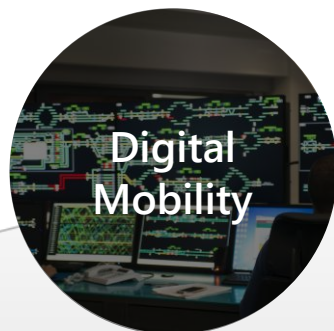
日立は、社会インフラのデジタル化と、安定稼働を支える「OS^{*1}」で、持続的に成長

2024中期経営計画

Inspire 2027

Beyond

日立の成長ドメイン 「Digital Infrastructure」



Lumada 80-20
企業価値向上

HMAX

デジタルサービス
【OS】

デジタル資産
【社会インフラ】

Non-Lumada

社会インフラをデジタルで革新し続けるグローバルリーダーへ

① CEO Remarks

執行役社長 兼 CEO 徳永 俊昭

事業成長戦略

② エナジー

執行役専務 アンドレアス・シーレンベック

③ モビリティ

執行役専務 ジュゼッペ・マリノ

④ コネクティブインダストリーズ

執行役専務 網谷憲晴

⑤ デジタルシステム&サービス

執行役副社長 阿部 淳

⑥ CFO Session

執行役専務CFO 加藤 知巳

HITACHI

将来予想に関する記述

< 将来の見通しに関するリスク情報 >

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下の通りです。

- ・主要市場における経済状況及び需要の急激な変動
- ・為替相場変動
- ・資金調達環境
- ・株式相場変動
- ・原材料・部品の不足及び価格の変動
- ・信用供与を行った取引先の財政状態
- ・主要市場・事業拠点（特に日本、アジア、米国及び欧州）における政治・社会状況及び貿易規制等各種規制
- ・気候変動対策に関する規制強化等への対応
- ・情報システムへの依存及び機密情報の管理
- ・人財の確保
- ・新技術を用いた製品の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社及び子会社の能力
- ・地震・津波等の自然災害、気候変動、感染症の流行及びテロ・紛争等による政治的・社会的混乱
- ・長期請負契約等における見積り、コストの変動及び契約の解除
- ・価格競争の激化
- ・製品等の需給の変動
- ・製品等の需給、為替相場及び原材料価格の変動並びに原材料・部品の不足に対応する当社及び子会社の能力
- ・コスト構造改革施策の実施
- ・社会イノベーション事業強化に係る戦略
- ・企業買収、事業の合併及び戦略的提携の実施並びにこれらに関連する費用の発生
- ・事業再構築のための施策の実施
- ・持分法適用会社への投資に係る損失
- ・当社、子会社又は持分法適用会社に対する訴訟その他の法的手続
- ・製品やサービスに関する欠陥・瑕疵等
- ・自社の知的財産の保護及び他社の知的財産の利用の確保
- ・退職給付に係る負債の算定における見積り